

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	生活リハビリセンター糸			第三者評価受審年度	令和2年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況 (令和2年度末時点)	実施状況 (令和2年度末時点)	
事業継続計画策定について	災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画策定が行政機関を通して明示され急がれている。	災害・感染症・深刻な事故などを想定した事業継続計画の策定に取り組む。また、施設外での活動や送迎中などに地震に見舞われた際の対応などについても事前に計画し実践できるよう災害対策のより一層の強化に取り組む。	災害・感染症などに備えた取り組みでは、各種マニュアルを整備しているほか、避難訓練に関しても定期的に実施している。事業継続計画の早期完成を目指し計画的に取り組む。また、災害備蓄品について必要数確保を計画するほか、電話回線が不通になった際に利用者家族に対してどのような手段で安否を伝えていくかを明確化できるよう取り組む。		
コロナ禍での日中活動の充実について	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年実施している行事や活動が行えない状況となった。また、近隣保育園との合同活動といった社会参加行事についても執り行うことが出来ない状況となった。	事業所会議などで様々なアイディアを出して徹底した感染対策を行い、感染症が落ち着いた時期などには、地域交流や地域貢献などの活動を軸に取り組む。	感染対策を徹底して行うことで一部行事は、実施できなかったがブドウ狩りなど外出行事については実施できた。また、地域神社や近隣清掃を行うことで地域においての社会参加の機会を提供できた。		
アセスメントの詳細な情報収集及び将来を見据えた支援について	新型コロナウイルスの影響もあり詳細なアセスメントの更新が出来ていなく生活状況やADLの状況が全利用者見直しが出来ているとは、言えない状況となっている。	個別支援計画作成におけるモニタリングを通して年2回の聞き取りを徹底して行い、生活状況の把握及び将来を見据えた支援に伴う詳細なアセスメントの更新を行う。また家庭訪問や電話での聞き取りを主として状況の改善に向け取り組む。	令和3年度個別支援計画作成に伴う、詳細な聞き取りを家庭訪問などを通じて現在の生活状況の把握が行えた。また、ご家族との連絡ノートでのやりとりを活用して利用者本人の精神状態の把握に努めた。		

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。